

# LONDON SHAKUNAGE KAI

First floor, 16 Maddox Street, Mayfair, London, W1S 1PH, U.K.

Tel: +44(0)7958 955 931 Fax: +44(0)20 7491 7471

XXXXX 様

## 「起き上がりこぼし」絵付けプロジェクトー福島復興支援

拝啓 盛夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

この度は福島復興支援を目的とするチャリティ展にご協力賜りたく、突然のお願いで恐縮でございますがご連絡させていただきます。今年 2 月、世界 9 カ国から 19 の福島県人会が集う県人会サミットが福島県庁主催のもと開催され、各国で活動を行う福島県人会間の連携を強め、福島県の状況を世界に発信すると共に、2 年おきにサミットを開催し復興支援策を検討する「ワールド県人会」が設立されました。

上記の流れをくみ、福島県会津の職人さん手作りの伝統的な無地の起き上がりこぼしに、日本のみならず世界の著名な方々に、復興への想いをこめて絵付けをしていただくという慈善運動「起き上がりこぼし」絵付けプロジェクトが展開されました。ヨーロッパでの運動については、世界的に活躍する日本人の代表的な存在である高田賢三氏の発案で、フランスで非営利団体を発足したのを皮切りに、2013 年 3 月 11 日のフランスのリヨン市庁舎での東日本大震災二周年記念式典にて最初の展示が行われました。その後、日本との交流 400 周年記念イベントが 6 月に行われたマドリッドで展示され、今後ここ英国でも展示会を開催できる様、計画を進めています。絵付けいただいた起き上がりこぼしは、最終的にはヨーロッパからの応援のしるしとして、福島県の人々に寄贈される予定となっています。

厚かましいお願いで誠に恐縮でございますが、「ワールド県人会」の一部であり、ロンドンを拠点に活動する在英国福島県人会「ロンドンしゃくなげ会」を代表し、「起き上がりこぼし」絵付けプロジェクトにご賛同をお願いしたく、当依頼書をお送りさせていただきます。ご協力賜れます場合は、ロンドンしゃくなげ会の代表者が無地の起き上がりこぼしをお届けさせていただきます。同様に、絵付けの完成後は、お引き取りに伺わせて頂きます。併せて、完成した起き上がりこぼしと一緒に写真またはビデオを撮影いただき、ご提供賜ります様お願い申し上げます。別紙にて、これまでご賛同頂きました著名人の皆様の例をご紹介しますので、よろしければご参照ください。



# LONDON SHAKUNAGE KAI

First floor, 16 Maddox Street, Mayfair, London, W1S 1PH, U.K.

Tel: +44(0)7958 955 931 Fax: +44(0)20 7491 7471

起き上がりこぼしは、福島県会津地方に 400 年以上も前から伝わる郷土玩具で、無病息災、家内安全、のお守りとして親しまれてきました。また、何度倒れてもまた必ず起き上がるという、七転び八起きのことわざにもあらわれる、当地方の「不屈の精神」を象徴しています。

東日本大震災から 2 年以上が経った今も、福島の人々は地震、津波、原発、風害を起因とする大きな被害に苦しんでいます。被害は非常に大きく、死者数は 2,987 人にも上り、93,106 棟の家屋が全壊または半壊しました。それに加え、現在も続く原発問題と、放射物の安全性に関する否定的な噂を起因とする経済的困難や健康上の理由から、約十六万人が県内・県外に避難しての暮らしを続けています。

この「起き上がりこぼし」絵付けプロジェクトの運動が、福島の実状について人々の関心を高め続け、風評被害払拭に貢献することと願っています。過去の二年間、福島は災害の象徴となってきましたが、皆様の支援と、重要なことには、信頼をいただき、今後は福島が再生と希望の象徴となっていくことと信じています。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、つきましては、これらの趣旨をご理解頂き、当プロジェクトへのご支援とご協力を頂けましたら幸甚に存じます。何卒よろしくお力添えを賜われますようお願い申し上げます。ご不明にお思いになられる点がございましたら、どうぞお気軽にお問合せください。

略式ながら、まずは書中にてご依頼申し上げます。

敬具

2013 年 8 月 1 日

在英國福島県人会ロンドンしゃくなげ会

会長 満山喜郎

Email: [ymitsuyama@londonshakunage.com](mailto:ymitsuyama@londonshakunage.com)

Phone: +44(0)7958 955 931

